※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の授業は、手本をただ書き写すだけではありません。さまざまな書の作品に関心を持ち、書の多様な表現について学ぶことで、自分なりに表現する力をつけてほしいと思っています。

１年生の授業では、筆や墨、紙などの、書道で使用する用具用材の特性を知り、それを生かした表現について考えます。また、長い歴史の中で評価されてきた作品を真似する「臨書」を行うことで、基本的な筆遣いや表現方法について学びます。それらを生かして、独自の作品をつくる「創作」を行います。「臨書」と「創作」を繰り返すことによって、表現力を高めていきます。

２　学習の到達目標

書の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技術を身に付けるようにする。

⑵　書のよさや美しさを感受し、意図的に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

⑶　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道 文字の成立	・書写と書道の違いを知る。 ・文字の成り立ちと書体の変遷を知る。 ・用具用材の正しい使い方、基本姿勢を学ぶ。	a:書写と書道の類似点・相違点や基本的な用具用材の扱い方について理解している。 b:書写と書道の違いについて考え、自らの意図に基づいて表現を工夫している。 c:文字の成り立ちについて関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート
	漢字の書（楷書） 「九成宮醴泉名」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」	・楷書の基本用筆を学ぶ。 ・書風の違いを知る。(字形・線の大細・線質など) ・半切２分の１に作品を仕上げる。	a:文字の形を正しく捉え、筆の弾力を生かした用筆を理解し表現の技能を身に付けている。 b:楷書の基本的な用筆方法、全体の構成について構想し工夫している。 c:楷書の美について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	一字書	・既習の書風を生かして一字書の創作をする。	a:楷書の基本的な結構法や用筆法を身に付けている。 b:書きたい言葉のイメージを明確にし、線質や字形、紙面構成を工夫して表現している。 c:用具用材による表現の違いに関心を持ち、その表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート
	漢字の書（行書） 「蘭亭序」 「風信帖」	・行書の基本用筆を学ぶ。(筆脈)	a:運筆の速度の変化や筆脈を理解し、行書の基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 b:行書の基本的な用筆方法、全体の構成について構想し工夫している。 c:行書の成り立ちや美しさに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート
	仮名の書 いろはうた 「蓬莱切」	・仮名の成立を知る。 ・仮名の用具用材の扱い方を知る。 ・いろはうたを書く。 ・連綿について知る。 ・変体仮名について知る。 ・仮名の基本用筆を知る。	a:筆の弾力を生かした仮名の用筆方法を身に付けている。 b:仮名の書の基本的な結構や用筆、全体の構成について構想し工夫している。 c:仮名の美とそのよさについて関心を持ち、積極的に表現方法を高めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート
	生活の中の書	・手紙の書式を知る。 ・年賀状を書く。	a:国語科書写で身につけた基礎的な用筆方法との関わりについて理解し、効果的に表現する技能を身に付けている。 b:書く目的や用途に応じて、文字の大きさや書く位置を構想し工夫している。 c:生活の中に見られる書に関心を持ち、積極的に技能を習得できるように取り組んでいる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	漢字仮名交じりの書	・自分で選んだ言葉を半切 1/3 に創作する。	a:用具用材を正しく用い、作品の意図を明確にするための表現の技法を身に付けている。 b:作品の意図や構想に基づき、表現を工夫している。 c:詩文の書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に積極的に取り組んでいる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度